

会 議 録

1 会議名

- ・平成30年度第3回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1) 報 告（公開）

- 総務・地域振興グループ報告事項
 - ・上越市総合防災訓練の実施について
- 教育・文化グループ報告事項
 - ・区内で発生した不審者情報について

2) 協 議（公開）

- (1) 平成30年度地域活動支援事業について

3) その他（公開）

- (1) 平成30年度第4回清里区地域協議会の開催（案）について

3 開催日時

- ・平成30年5月25日（金）午後3時から午後4時15分まで

4 開催場所

- ・清里区総合事務所3階 第3会議室

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：笹川幹男（会長）、古澤文夫（副会長）、桑原正史、島田敏雄、羽深正、古沢義夫、丸山弘子、三原田裕子、向橋マチ子、山川正平、涌井博道
- ・事務局：清里区総合事務所：上田所長、秋山次長、関根市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長）小林班長、北村主事（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【秋山次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【笹川幹男会長】

- ・ 挨拶

【上田所長】

- ・ 挨拶

【笹川幹男会長】

- ・ 会議録の確認を桑原正史委員に願います。
- ・ 次第 4 報告、総務・地域振興グループの報告事項について、事務局に説明を求める。

【秋山次長】

- ・ 上越市総合防災訓練の実施について説明する。
- ・ 上越市防災総合訓練を 9 月 1 日土曜日、清里中学校周辺で実施する。訓練の想定としては、高田平野東縁断層帯を震源とする地震の発生により、清里区で震度 6 強を観測し、区内で倒壊家屋や土砂崩れが多数発生し、甚大な被害になっているという想定で訓練を行う。訓練内容は、住民避難訓練と区内の 3 か所の指定避難所の内、清里中学校を開設し避難者を受入れての各種対応、福祉避難所みねの園の開設、受入訓練を行い、県のドクターヘリがグラウンドに降り立つという訓練となる。これにより 11 月 11 日日曜日に予定していた自主防災組織の一斉避難訓練は、9 月 1 日の総合防災訓練に替えることとした。訓練の詳細については、今後の協議となる。

【笹川幹男会長】

- ・ 事務局の説明について質問を求めるがなく、次に、教育・文化グループ報告事項について事務局に説明を求める。

【関根 G 長】

- ・ 清里区内において 5 月 18 日金曜日、21 日月曜日に発生した不審者情報とその対応について説明する。
- ・ 5 月 18 日金曜日の午後 6 時 30 分頃、武士からみらいにかけて 50 歳前後の男性が運転する黒い乗用車が男子中学生 2 人を追い抜いた後、数メートル前を徐行、停止を繰

り返しながら自宅周辺までついてきた。その後、生徒達はみらいの公園で遊んでいたが、まだ停車しているので不審に思い、ナンバーを確認しに行こうとしたら走り去った。翌19日土曜日の午前8時20分に、生徒が部活動で登校した際に顧問に報告し、その後教頭、校長が報告を受け上越警察署へ通報したが、警察では複数の情報が出た時点で不審者情報として扱うとの回答であった。

- ・週明けの21日月曜日の午後3時30分頃、上稲塚において自転車で帰宅した女子中学生が、自宅前の車庫付近に黒い乗用車が停車しているのに気付いた。運転席には50から60歳位のサングラスとマスクをした男性がおり、生徒の様子をうかがっていた。その後、生徒が母親と中学校に連絡し、校長が現地に駆け付けたが乗用車は無く、駐在官が事情聴取を行い、教頭が学校教育課へ報告し、午後5時30分頃に中学生の保護者全員にメールで注意喚起した。

- ・翌22日火曜日に中学校から小学校へ情報提供し、両校とも児童生徒に不審者対応を指導し、保護者へ文書により不審者情報と対応について通知した。

- ・総合事務所では、きよさと保育園に情報提供し保育園も保護者に文書で注意喚起を行った。また、防災行政無線により区内の皆さんに注意喚起と見守りをお願いし、パトロール車による区内巡回を本日までの間、午後5時から6時にかけて行っており、駐在所でも登下校時のパトロールを強化している。

- ・今回は中学校から教育文化グループへの情報提供が遅れたが、先日23日に小中学校との会議があり、その際に両校、教育文化グループが情報共有を迅速に行うことを確認した。なお、新潟市の女子児童殺害事件の対応として、市教育委員会から学校に不審者対応指導があり、生徒児童に再度指導を学校が行っている。委員の皆様からも、登下校時や子どもだけで遊んでいるときは十分に注意していただき見守りを願います。

【笹川幹男会長】

- ・事務局の説明について質問を求める。

【羽深正委員】

- ・こども110番の家や110番協力車があったが、今はどのようになっているのか。

【古澤文夫副会長】

- ・110番協力車のステッカーを付けたクルマは、今も目にするが。

【島田敏雄委員】

・以前、町内会長に110番協力車の依頼があったが去年は無かった。こども110番の家は、そのまま引き継いでいる。

【秋山次長】

・担当の市民安全課に確認し、次回の地域協議会で報告する。

【笹川幹男会長】

・他に質問を求めるが無く、報告を終了する。

・次第5協議、平成30年度上越市地域活動支援事業の審査について、事務局に説明を求める。

【小林班長】

・採点結果について、資料1-1により説明する。

・基本審査・採択方針及び共通審査基準審査の結果、全事業が採択すべき事業の要件を満たした。資料1-2については、委員からの事業に対する意見、要望をまとめたものである。

【笹川幹男会長】

・事務局の説明について質問を求めるがなく、提案のあった事業については採択基準を満たしていることから、9事業を採択すべき事業としてよいか。

(「はい」の声あり)

・賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成10人、反対0人)

・賛成が過半数であり、提案のあった9事業を採択すべき事業とする。

・各事業の補助金額について、採択順位の上位の事業から協議をお願いします。

・採択順位1位の「すこやかなまちづくり交流事業」について、補助金額を希望額としてよいか。

【丸山弘子委員】

・採点結果の点数から、満額を補助すべきと思う。

【向橋マチ子委員】

・丸山委員の意見に同感だ。

【笹川幹男会長】

・今ほど意見があったが、補助金額を希望額としてよいか。

(「はい」の声あり)

- ・賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成10人、反対0人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を550,000円とする。
- ・採択順位2位の「清里区坊ヶ池交流施設活用事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求める。

【向橋マチ子委員】

- ・よいと思う。

【笹川幹男会長】

- ・他に意見を求めるが無く、賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成10人、反対0人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を800,000円とする。
- ・採択順位3の「ありがとう25周年スターフェスティバル事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求める。

【向橋マチ子委員】

- ・よいと思う。

【笹川幹男会長】

- ・今ほど意見があったが、賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成10人、反対0人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を496,000円とする。

【山川正平委員】

- ・補助金額を万単位としてはどうか。

【小林班長】

- ・清里区の採択方針で、補助金額は千円未満を切り捨てた額となっている。

【笹川幹男会長】

- ・採択順位4位の「黒保遺跡活用促進事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求める。

【向橋マチ子委員】

- ・よいと思う。

【古澤文夫副会長】

- ・黒保遺跡については、今まで何も手を付けていなかったのが荒れ放題となっており、馬屋町内会で整備し活用しようとするのは清里区のためにもなるので、希望額としてよいのではないか。

【笹川幹男会長】

- ・副会長からの意見があったが、賛成の方は挙手をお願いします。
(賛成10人、反対0人)
- ・賛成が過半数であり、補助金額を610,000円とする。
- ・採択順位5位の「大櫓ポケットパーク利用促進事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求める。

【丸山弘子員】

- ・この事業は点数が高く、良い事業なので希望額でよい。

【向橋マチ子委員】

- ・丸山委員の意見に同感だ。

【笹川幹男会長】

- ・賛成の方は挙手をお願いします。なお、山川委員は、審査に加わらないこととする。
(賛成9名、反対0人)
- ・賛成が過半数であり、補助金額を810,000円とする。
- ・採択順位6位の「上越市清里区老人クラブ連合会創立50周年記念事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求める。

【丸山弘子委員】

- ・記念すべき50周年なので希望額でよいと思う。

【島田敏雄委員】

- ・大事な事業だとは思いますが1,000,000円は多すぎると思うので、区の配分を超えている61,000円を減らすべきではないか。

【向橋マチ子委員】

- ・事業費の明細もきちんと記載されており、希望額に賛成だ。

【笹川幹男会長】

- ・賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成7人、反対3人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を1,000,000円とする。
- ・採択順位7位の「カルタ加美芝居&坊太郎絵本事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求める。

【丸山弘子委員】

- ・絵本は期待するが、カルタについてはもう一ひねりが必要ではないか。

【笹川幹男会長】

- ・他に意見を求めるが無く、賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成8人、反対2人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を460,000円とする。
- ・採択順位8位の「上越・清里の会30周年記念誌発刊事業」について、補助金額を希望額としてよいか。意見を求めるが無く、賛成の方は、挙手をお願いします。

(賛成7人、反対3人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を300,000円とする。
- ・採択順位9位の「故郷賛歌「坊が池」の普及活動事業」については、既に決定いただいた補助金額の総額が5,026,000円となっており、希望額の335,000円から61,000円を減額とした274,000円としてよいか。意見を求める。

【山川正平委員】

- ・演奏者等への謝礼が高いのではないか。

【小林班長】

- ・この事業に関するQ&Aで講師謝金の基準が目安として記載されているが、演奏者、歌い手については講師には当てはまらず、この事業に必要なとのことである。

【丸山弘子委員】

- ・確認するが、今回の事業は生の演奏を楽しむものではなく、坊が池のCDを作成するための事業ということか。

【小林班長】

- ・提案書に記載されているとおり、CD化に係る事業である。

【桑原正史委員】

- ・最も点数が低いこの事業から、減額することが適当ではないか。

【古澤文夫副会長】

- ・桑原委員の意見が妥当だと思う。

【小林班長】

- ・この会議の前に会長、副会長と事務局との打合せを行っており、超過分については採点結果の一番低い事業から減額すべきではないかという意見を伺っている。

【笹川幹男会長】

- ・事務局の説明のとおり考えている。

【桑原正史委員】

- ・点数をつけた結果であるから、それが自然だと思う。

【丸山弘子委員】

- ・同感である。

【山川正平委員】

- ・補助金を減額することにより、事業が実施できなくなるのではないか。

【笹川幹男会長】

- ・その件について、事務局に説明を求める。

【小林班長】

- ・事業の採択、補助金額についてはこの会議で決定することになるが、会長から事前に採点結果の最も点数の低い事業の実施団体に、補助金額を減額した場合の取組について確認するよう指示があり代表者に確認している。減額された場合に考えられることは事業の取り止め、事業費の減額、事業費をそのままとして補助金の減額分を自己負担額とする3案が考えられ代表者に説明した。その結果、採択された場合は自己負担額を増額して事業を実施したいとの意向を確認している。

【古澤文夫副会長】

- ・補助金の変更に係る手続きは必要なのか。

【小林班長】

- ・提案者が内容を確認した上で、提案書の修正を行う。

【羽深正委員】

- ・事業を実施した結果、事業費が少なくなった場合は補助金の返金があるのか。

【小林班長】

- ・概算で補助金が支払われている場合は、補助金の返還が必要となる。

【島田敏雄委員】

- ・プレゼンテーションで、会長から提案者に補助金が満額にならない場合があると言っているため問題は無いのではないかと。

【笹川幹男会長】

- ・他に意見を求めるが無く、採択順位9位の「故郷賛歌「坊が池」の普及活動事業」の補助金を274,000円としてよいか、賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成9人、反対1人)

- ・賛成が過半数であり、補助金額を274,000円とする。
- ・審査の結果、今年度の「採択すべき事業」は9事業、補助金総額が5,3000,000円となった。審査結果については、清里区総合事務所長に報告する。なお、事業に係る委員の意見については、提案団体に送付することとする。以上で協議を終了する。
- ・次第6その他、第4回清里区地域協議会の開催案について、6月22日金曜日、午後3時からこの会場で開催したい。会議の内容については、自主的審議事項に係る地域との意見交換会等について協議をお願いします。
- ・その他委員に意見を求めるがなく、第3回地域協議会を終了する。

【古澤文夫副会長】

- ・閉会の挨拶

9 問合せ先

- ・清里区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

- ・別添の会議資料も併せてご覧ください。